



校訓

邂逅

「人、もの、こと」
との出会いの喜び

自律

生徒自身が自らを律し
育っていく喜び

創造

新たなものを生み出し
つくりあげていく喜び

学校教育目標

『生徒が自ら未来を切りひらくことのできる「主体的に生きるちから」の育成』

知

確かな学力
生きる力
個性の伸長

徳

豊かな心
感謝の気持ち
明るいあいさつ

体

健やかな身体
たくましい精神力
強い意志

学校の課題

- 本校の生徒は、比較的授業に真面目に取り組むが、学習意欲が低く、家庭学習の時間が少ない生徒も多いため、学習習慣の定着を図る必要がある。
- 「めあてを 意識した学習活動を通して、自分なりの言葉でまとめたり、振り返ったりすること」ができている生徒が少ないため、振り返りシートを見直すなど、生徒自身が身に付けた 学力を意識化する必要がある。
- 体力向上については、現状を把握し、全教職員が関心をもち、学校全体で取り組む必要がある。
- 長欠の生徒が多く、家庭と学校とが連携するとともに、関係機関とも連携を深め、専門的な対場での意見を取り入れ、個に応じた対応と解決策を考える必要がある。
- 自尊感情を高める取組を学校全体で行うため、人権・道徳の校内研修の機会を増やす必要がある。
- 特別支援学級の生徒への支援は充実しているが、通常級における特別に支援を要する生徒に対する対応の必要性に迫られている。
- 校務分掌の整備と業務の平準化を図ることで、全職員の時間外勤務を45時間以下にする必要がある。

経営の方針と重点

- 【めざす学校像】
- ・ 「誰一人取り残さない」の実現を図る学校
 - ・ 明るく活気に満ち、生徒が安心して学ぶことのできる学校
 - ・ 生徒・保護者・地域に信頼され、愛される学校
 - ・ 教職員がやりがいと誇りをもって、生徒の成長のために取り組める学校
- 【めざす生徒像】
- ・ 失敗を恐れず、自ら課題を見つけようとする主体性をもつ生徒
 - ・ 自らの将来像を抱き、目標達成に向けて努力し続ける生徒
 - ・ 挨拶や返事、善行など、自立した善悪の判断と行動ができる生徒
 - ・ 相手を理解し、自他ともに大切にできる、思いやりの心をもった生徒
- 【めざす教師像】
- ・ 生徒のよさや可能性を大切に教育的愛情に満ちた教職員
 - ・ 高い専門性と豊かな人権感覚、使命感と情熱をもつ教職員
 - ・ 互いに研鑽し合い「チーム枝光台中」の一員として互いに協力し合う教職員
 - ・ 生徒や保護者、地域から信頼される教職員
- 【本年度の重点目標】
- 柱1 主体的に学ぼうとする生徒の育成
 - 柱2 子どもがいつでも本に手を伸ばせる読書環境の整備
 - 柱3 自分のよさを実感でき、楽しく学校へ通う生徒の育成
 - 柱4 『休みやすい職場』『働きやすい職場』を目指す

市の方針と重点

- 教育委員会の方針
1. 個別最適な学びと協働的な学びのためICTを活用した教育の充実
 2. 小・中学校の9年間の連続性・系統を生かした小中一貫教育の推進
 3. 長欠・不登校生徒への支援体制の構築
- 指導の重点(ポストコロナを見据えた学校教育)
- 1 確かな学力の育成
 - 2 健やかな体の育成
 - 3 豊かな心の育成
 - 4 特別支援教育の推進
 - 5 大量退職・採用時代における教員の資質向上
 - 6 学校における業務改善
 - 7 長期欠席・いじめ等へのきめ細かな対応
 - 8 児童生徒の安全確保
 - 9 家庭・地域・学校の連携
 - 10 社会的・経済的な課題への対応
 - 11 教育環境の整備
 - 12 学校施設の整備

【具体的実践事項と目標指標】

子どもの学び「確かな学力」
主体的に学ぼうとする
生徒の育成

- (1) 子どもが自ら考え、表現・対話する「子どもが主語」の授業改善
 - ・ 校内研修や互見授業を生かした授業改善
 - ・ 校外研修での個の学びを情報共有し、学校全体の授業改善に生かす体制づくり
- (2) 授業時間の内外を問わず、家庭と連携した学習習慣・内容の定着の充実
 - ・ 「AIAアプリ」を活用した学習習慣や内容の定着に係る学習の充実
- (3) 生徒の学び意欲を高めるための学習規律や校内環境づくりの推進（「AIAアプリ」の活用）

子どもの学び
「確かな学力」
読書活動

- (1) 子どもがいつでも本に手を伸ばせる環境の整備
 - ・ 学校内の教室や廊下、空きスペースなどに読書コーナーを設ける等の環境づくり
- (2) 生徒主体の読書活動
 - ・ 生徒会を中心とした読書活動の推進

子どもの心の育ち「居場所づくり」

自分のよさを実感でき、楽しく学校へ通う生徒の育成
～すべての子どもにとって『居心地のよい学校』をつくる～

- (1) 特別活動と総合的な学習の時間の充実
 - ・ 「すべての子どもにとって居心地のよい学校づくり」を目標とした特別活動および総合的な学習の時間の充実
 - ・ 発達段階に応じた1学年から3学年までの系統的な取組になるように、年間計画を作成する
 - ・ 学級集団づくりを促進する学級活動の充実（子どもつながりプログラムの活用等）
 - ・ 枝光台中校区小学校（枝光小・ひびきが丘小）及び地域との連携を図り、地域での教育力を高め、子どもの自己肯定感の向上につなげる
- (2) 主体的で自立した生徒を育てる生徒会活動の充実と挑戦できる場の設定
 - ・ あいさつ運動、校則の見直し、読書活動等、生徒が発信する活動の充実
 - ・ 生徒主体の行事の充実を図る
- (3) 道徳教育
 - ・ 「考え議論する」心に響く道徳の授業づくり
 - ・ 確かな人権感覚を育む人権教育の推進
 - ・ 各学年での取組状況を定期的に全職員で共有する
- (4) 自己実現を目指す積極的な生徒指導体制の確率
 - ・ 情報共有と指導方針確認（終礼での情報共有、「報告・連絡・相談・確認」の徹底）
 - ・ いじめ等問題事案への速やかな組織的対応
 - ・ 長期欠席生徒に対して、関係機関との効果的な連携を図り、多様な学びの場を設定し、進路実現を図る

業務改善
「教職員のウェル
ビーイング」

- (1) 業務改善とワークライフバランスの充実
 - ・ 部活動の適切な運営（適正な休養日の設定、合理的練習）
 - ・ 前例踏襲にとらわれず、新たな視点で業務を見直す。
- (2) 同僚性の高い職場環境づくり
 - ・ 風通しのよい組織、存在感・所属感のある居心地のよい職場づくり
- (3) 不祥事撲滅
 - ・ 飲酒運転・体罰・不適切な言動・個人情報等の研修を実施し、声を掛け合いチームで働きやすい環境をつくる